

令和3年度認定 (No.92)

農業名人

野菜づくり名人 からさわ 唐澤 しげよし 成好

昭和15年生まれ 箕輪町在住

～苗はすべて自分で種からおこす～



東京で牛乳販売店の経営をしていたが、兄が亡くなったことをきっかけに実家へ戻る。実家は酪農をしていたが、自分には酪農経営は難しいと考え、畜舎等を他人に譲って建設会社に20年間勤務した。

所有する農地が多かったことから、定年後には専業農家となり、現在に至る。

農業技術や農業経営は、雑誌やインターネットで勉強したり、他の農家のやり方を参考にするなどして身に付けたという。

野菜づくりは、ブロッコリー、カリフラワー、白菜、スイートコーンなど多品種にわたる。苗はすべて自分で種からおこし、ハウスを活用した春一番レタスを出荷するなど、栽培には工夫を重ねている。

最近では、箕輪町ふるさと納税の返礼品として自慢のスイートコーンが選ばれ、その品質の高さは好評を博した。

このような高品質な野菜づくりは、まさに、これまでの研究や経験の積み重ねにより得られた知見・技術を総動員した成果である。

また、出荷先をなるべく直売所に集中させ高い利益率を確保するとともに、廃棄量の減少を実現することで、持続可能な農業経営を実現している。

町農業委員を平成12年から1期3年務める。

